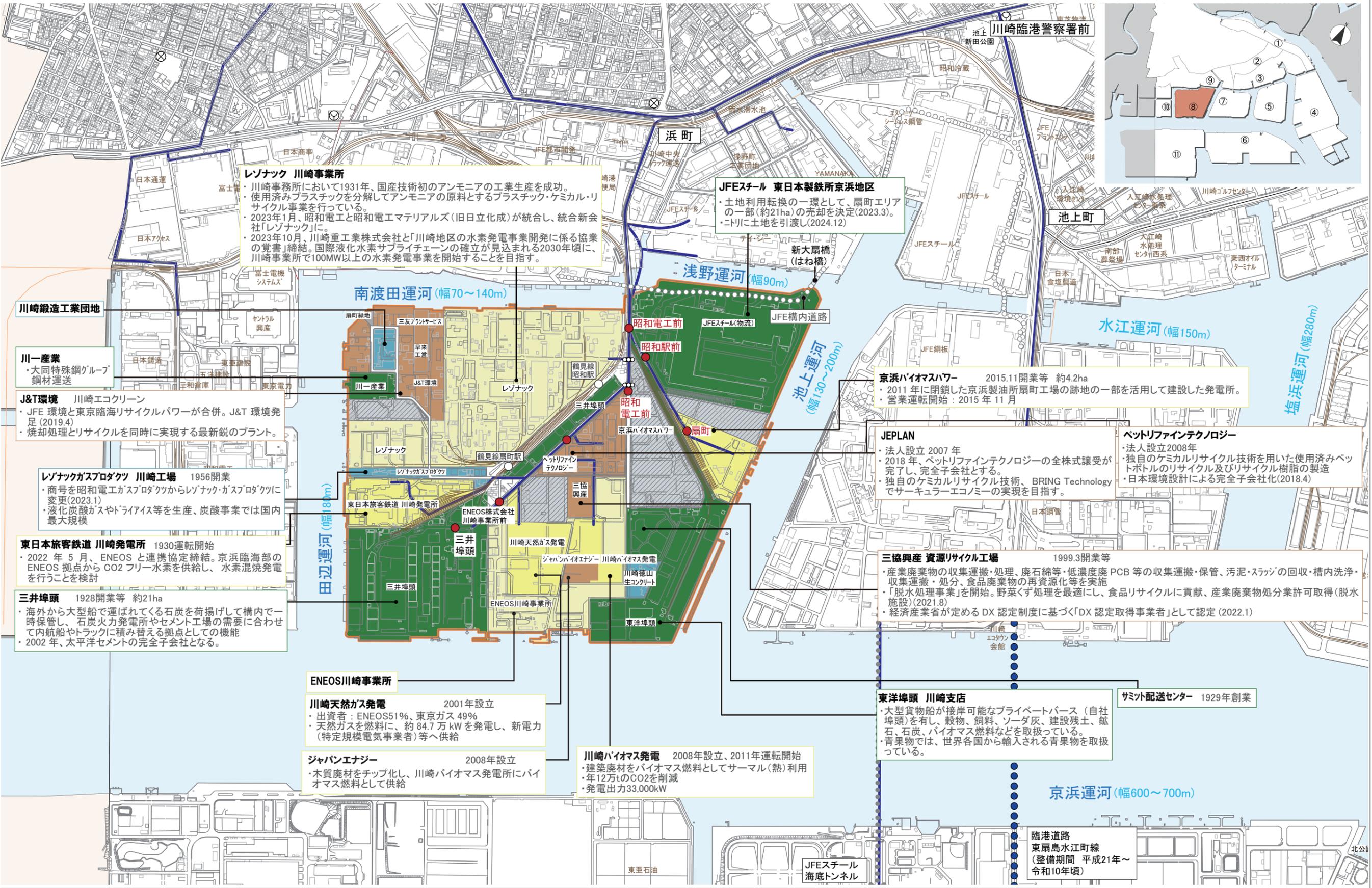
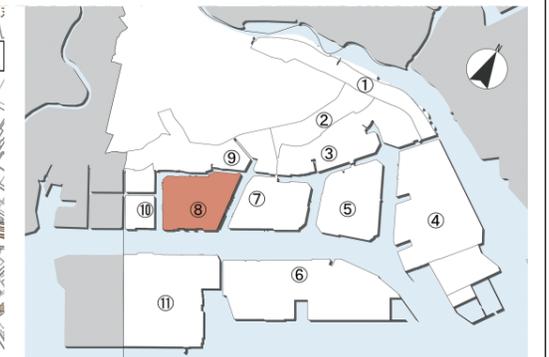


凡例

- 市域
- 対象地区範囲
- バス停
- 警察署
- 製造 (石油・石油化学)
- 公共用地
- その他
- 製造 (石油・石油化学以外)
- 物流
- 公園等
- 工業用水道
- リサイクル
- エネルギー
- 研究開発

SCALE 1/12000

扇町地区 8



レゾナック 川崎事業所

- 川崎事業所において1931年、国産技術初のアンモニアの工業生産を成功。
- 使用済みプラスチックを分解してアンモニアの原料とするプラスチック・ケミカル・リサイクル事業を行っている。
- 2023年1月、昭和電工と昭和電工マテリアルズ(旧日立化成)が統合し、統合新会社「レゾナック」に。
- 2023年10月、川崎重工業株式会社と「川崎地区の水素発電事業開発に係る協業の覚書」締結。国際液化水素サプライチェーンの確立が見込まれる2030年頃に、川崎事業所で100MW以上の水素発電事業を開始することを目指す。

JFEスチール 東日本製鉄所京浜地区

- 土地利用転換の一環として、扇町エリアの一部(約21ha)の売却を決定(2023.3)。
- コトリに土地を引渡し(2024.12)

京浜バイオマスパワー 2015.11開業等 約4.2ha

- 2011年に閉鎖した京浜製油所扇町工場の跡地の一部を活用して建設した発電所。
- 営業運転開始：2015年11月

JEPLAN

- 法人設立 2007年
- 2018年、ベトリファインテクノロジーの全株式譲受が完了し、完全子会社とする。
- 独自のケミカルリサイクル技術、BRING Technologyでサーキュラーエコノミーの実現を目指す。

ベトリファインテクノロジー

- 法人設立2008年
- 独自のケミカルリサイクル技術を用いた使用済みペットボトルのリサイクル及びリサイクル樹脂の製造
- 日本環境設計による完全子会社化(2018.4)

三協興産 資源リサイクル工場 1999.3開業等

- 産業廃棄物の収集運搬・処理、廃石綿等・低濃度廃PCB等の収集運搬・保管、汚泥・スラッジの回収・槽内洗浄・収集運搬・処分、食品廃棄物の再資源化等を実施
- 「脱水処理事業」を開始。野菜くず処理を最適にし、食品リサイクルに貢献、産業廃棄物処分業許可取得(脱水施設)(2021.8)
- 経済産業省が定めるDX認定制度に基づく「DX認定取得事業者」として認定(2022.1)

ENEOS川崎事業所

川崎天然ガス発電 2001年設立

- 出資者：ENEOS51%、東京ガス49%
- 天然ガスを燃料に、約84.7万kWを発電し、新電力(特定規模電気事業者)等へ供給

ジャパンエナジー 2008年設立

- 木質廃材をチップ化し、川崎バイオマス発電所にバイオマス燃料として供給

川崎バイオマス発電 2008年設立、2011年運転開始

- 建築廃材をバイオマス燃料としてサーマル(熱)利用
- 年12万tのCO2を削減
- 発電出力33,000kW

東洋埠頭 川崎支店

- 大型貨物船が接岸可能なプライベートバース(自社埠頭)を有し、穀物、飼料、ソーダ灰、建設残土、鉱石、石炭、バイオマス燃料などを取扱っている。
- 青果物では、世界各国から輸入される青果物を取扱っている。

サミット配送センター 1929年創業

京浜運河 (幅600~700m)

臨港道路
東扇島水江町線
(整備期間 平成21年~令和10年頃)